NEWS 01 消費者交流活動を行う牧場等における新型コロナウイルス感染症への当面の対応について

牧場関係者（酪農家・ご家族・従業員）への対応

（１）新型コロナウイルスの感染防止のため、以下の事項を徹底・心掛ける。

- ☑ 手洗い
- ☑ 咳エチケット
- ☑ 人込みの多い場所を避ける
- ☑ 発熱等の風邪の症状が見られるときは休む

（２）以下の情報（令和２年３月 18 日現在）を牧場内で共有する

- ☑ 食品そのものにより新型コロナウイルス感染症に感染したとされる報告はない
- ☑ 新型コロナウイルスがペット等動物に感染した事例は見つかっていない

※動物（乳牛を含む）を媒介して人間にうつる感染症は他にあるため、
普段から手指洗いや手指消毒用アルコールによる消毒を徹底する。

厚生労働省　新型コロナウイルスに関する Q&A
詳しくはホームページをご覧ください。
日々情報が更新されておりますので常に確認するようにしてください。

体験活動への対応

体験活動は、基本的に、自粛していただきたくお願い致します。

※やむをえず実施する場合は、厚生労働省のホームページ等を各自ご確認の上ご判断をお願いします。
なお、日々情報が更新されておりますので常に確認するようにしてください。

厚生労働省　新型コロナウイルス感染症について

NEWS 02 2020年度（第21回）代議員会の開催日が決定しました

日　程　2020年5月26日（火）※午後からの予定です。
場　所　神田駅周辺会議室
内　容　（１）平成31年度の活動報告・決算について
（２）令和2年度の活動計画・予算について
（３）その他

※新型コロナウイルスの収束状況により変更となる場合がございます。
※代議員及び役員の皆様には改めてご案内させていただきます。

NEWS 03 交牧連ホームページリニューアルのお知らせ

地域交流牧場全国連絡会のホームページ（https://www.dairy-farm.jp/）をリニューアルしました！
活動の案内や報告など逐一行う予定ですので、是非チェックしてみてください。

DF NEWS　DFニュース　2020年3月号
発行日／2020年3月　発行／地域交流牧場全国連絡会　〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2－6－1 堀内ビルディング4階（一社）中央酪農会議内
TEL03－6688－9841 FAX03－6681－5295　ホームページアドレスhttps://www.dairy-farm.jp/

DF NEWS

地域交流牧場全国連絡会
令和２年３月発刊
DAIRY FARM NEWS
3 月号 2020

平成31年度全国研修会及び 20周年記念式典を開催

平成31年度全国研修会を開催

後援：北海道、ホクレン農業協同組合連合会、（一社）中央酪農会議

地域交流牧場全国連絡会の会員牧場が一堂に会し、新たな知見の習得や、意見・情報交換などを通じて相互研鑽及び交流を図ることを目的に、全国研修会を令和元年10月22～23日に開催しました。本研修を通じ、北海道酪農の歴史や文化に触れながら、それぞれの地域での後継者に世代をつなぐための新たな知見を得るとともに、本会の目的である「日本酪農への支援や理解の獲得」に対する各々の思いを再認識しました。

プログラム等

とかち帯広空港コース

《南十勝夢街道～家族経営をめぐる旅～》25名参加

1日目

JR帯広駅（帯広市） 13:30発

JR帯広空港（帯広市） 14:20発

菊地ﾌｧｰﾑ（広尾町野塚） 15:30～

新規就農やジェラートカフェオープンなどの講演、ジェラートの試食。

懇親会・宿泊 17:30～

粗飼料を自家生産しながら夫婦で酪農を営む井田牧場を視察。

2日目

井田牧場（幕別町忠類） 8:40～

i-ﾌｧｰﾑ岩谷牧場（幕別町忠類） 9:30～

TMRの利用などについて伺いながら牧場視察。

ナウマン象記念館（幕別町忠類） 10:30～

女満別空港コース

《東北海道夢大陸を巡る旅》23名参加

1日目

女満別空港（大空町） 13:30発

石川ﾌｧｰﾑ（津別町） 14:10～

オーガニック牛乳の取組についての講演と視察。

ますこ牧場（大空町東藻琴） 15:20～

丘陵地での低コスト放牧酪農について伺いながら視察。

美幌峠（美幌町～弟子屈町） 16:20～

懇親会・宿泊 17:00着

2日目

磯黄山・摩周湖（弟子屈町） 8:10～

渡辺体験牧場（弟子屈町） 9:40～

牧場での体験の取り組みなどを講演し、牧場を視察。

湿原展望台（釧路市） 12:40～

中標津空港コース

《根釧台地がなぜ大酪農地帯になったのか？》25名参加

1日目

中標津空港（中標津町） 14:15発

移動バス内にて根釧台地酪農の説明後、大平原パノラマを見学。

開陽台（中標津町俣落） 14:35～

竹下牧場（中標津町） 15:40～

草地地帯での酪農経営と哲学を学んだ。

ushiyado ｳｪﾙｶﾑﾊﾟｰﾃｨ 18:00～

2日目

野付半島ﾈｲﾁｬｰｾﾝﾀｰ（別海町） 9:00～

河崎チーズ工房さんのチーズにかける思いなどの講演と試食。

明郷伊藤☆牧場（根室市） 11:00～

ほくれん丸視察

（釧路西港）73名参加 14:00～

バス車内（港湾関係車両が行きかう為）から釧路西港の視察を行った。車内ではホクレンの担当者から解説をいただき、ほくれん丸就航までの時代背景や、都府県の飲用向け生乳の供給への貢献などを学んだ。当日は台風の影響により日立港からの出航が遅れ、ほくれん丸を見ることはできなかったが、港には多くのタンクローリーが並び、圧巻の光景に会員から驚きの声も上がった。

全体研修会

（釧路プリンスホテル）83名参加

主催者あいさつ 16:00～

（有）渡辺体験牧場 渡辺 隆幸 会長

皆さんが参加したコースでは特色のある農家を見学しながら、いろんな人と出会い、楽しんでいただけたと思う。今回のテーマは「全体感北海道」。お互いに違いのある酪農を知ることで、広い視野で新たな道筋を見つめ直し、酪農の応援者獲得目指しながら、会員の交流を深める機会にしていただきたい。

来賓あいさつ

北海道農政部生産振興局長 水戸部 裕 様

この度、地域交流牧場全国連絡会が20周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。研修でご覧頂いた通り、北海道は広大な土地を背景に大規模で専業的な酪農経営を営んでいる。農業農村の豊かな自然や牧場の生活、食の大切さなどを伝えながら、農業農村の応援団を作る取り組みに心から感謝申し上げる。これからもしっかり活動いただきたい。

一般社団法人 中央酪農会議専務理事 迫田 潔 様

日本酪農の生産基盤が回復していない中、TPP11、日欧EPAなど国際化が足早に進んでいる。一番大事なことは国産の牛乳・乳製品をしっかり消費者に理解し食べていただくこと。そういった意味でも、交牧連の活動は非常に重要なものだと思っている。これからも本会としても協力しながら頑張っていただきたい。

コース別研修会発表

ほくれん丸視察報告会

講演「日本酪農の中の北海道酪農」

各コースごとに班長の北海道ブロック会員と、参加した都府県の酪農家２～３名が、班長からのインタビュー形式でコース別研修会の感想や学んだことなどを発表した。

司会者からのインタビュー形式にて、ほくれん丸の視察で感じたことや、関心を持ったことについて２名の参加者に発表いただいた。またホクレンの板東専務より、ほくれん丸の就航に関する補足説明をいただいた。

ホクレン農業協同組合連合会 代表理事専務 板東 寛之 様

北海道農業及び酪農、ホクレンの始まりと今日までの歴史を所々NHKの朝ドラ「なつぞら」を話題にしながら、共販体制の重要性や北海道酪農が果たす役割、今後の展望などについてをお話しいただいた。

閉会 19:00

全国研修会閉会後は翌日に開催した「20周年記念式典」の前夜祭も兼ねて懇親会を実施。北海道ブロック会員のおもてなしとして持ち寄っていただいたたくさんの乳製品に舌つづみをうった。記念式典のために駆け付けた歴代の全会長に、これまでの活動に対する思いを一言ずつ伺い、会場は大いに盛り上がった。最後に令和２年度全国研修会の開催予定の関東ブロック柿澤理事より締めの挨拶があり、幕を閉じた。

参加者アンケート結果

コース別研修会の感想

- 家族経営で北海道で酪農されている方の考え方を知ることができ、勉強になった。
- 私達と違うやり方があり、感心しました。ご夫婦力あわせての酪農感動しました。体験受入の知恵を参考にしたいと思います。
- 経営の内容はもちろん、目指すところが自社経営のことだけでなく、地域全体が盛り上がる事でとてもすばらしいと思った。

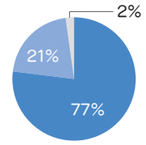
ほくれん丸視察の感想

- 釧路西港の視察で、生乳の入ったタンクが沢山並べられていて、初めて見て感動しました。

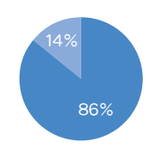
全体研修会の感想

- 皆生き生きしていて良かった。板東専務の話は示唆に富んでいた。
- 行くことが出来なかったコースの内容が良く分かり良かったです。他のコースも魅力的でした。

牧場視察（２日目）はどうでしたか？



研修会の全体的な雰囲気はよかったですか？



■5よかった ■4 ■3 ■2 ■1よくなかった

20周年記念式典を開催

後援：ホクレン農業協同組合連合会、（一社）中央酪農会議

本会設立より20年の節目を迎えることから、改めて本会の役割や重要性の再確認に加え、これまでの活動を振り返り、これからも本会を続けていく思いを共有し、会員同士の繋がりをより一層強固にすることを目的に20周年記念式典を令和元年10月24日に開催しました。司会の加茂・砂流副会長より10周年以降の10年間の活動について重点的に解説し、地域ブロックからの活動報告や特徴的な活動を行う会員の発表、そして酪農にまつわるクイズ大会なども行いながら、直近10年間の歴史を振り返りました。参加者は交牧連設立当初の気持ちを思い返したり、当時をなつかしむ様子が見受けられました。

プログラム等

20周年記念式典

（釧路プリンスホテル）84名参加

主催者あいさつ

（有）渡辺体験牧場 渡辺 隆幸 会長

20周年記念式典に全国から大勢の皆さんに駆けつけていただき感謝。次の20年、30年に向け何をすべきか、本会の歩んだ20年を振り返りながら確かめたい。私たちは素晴らしいことをしていると自信を持ち、次の10年に向け、今ここから共に歩みましょう。

来賓あいさつ

農林水産省北海道農政事務所釧路拠点 地方参事官 吉光 成人 様

20周年を迎えたことは、会員の熱意があったからこそ。今後とも会員のネットワークを大切にしていただきたい。

ホクレン農業協同組合連合会 代表理事副会長 瀧澤 義一 様

20年以上にわたって酪農家が消費者と接点を持ち、日本酪農に対する理解や支援を得る活動を行ってきている。大変意義深く敬意を表したい。

一般社団法人 中央酪農会議専務理事 迫田 潔 様

酪農教育ファーム活動をはじめ本会の推進する理解醸成活動に多大なご協力をいただおり、牛乳の消費が堅調なのはこのような活動が下支えとなり、消費者の理解が深まっているのだと感じる。中央酪農会議としても、引き続き支援をさせていただく。

交牧連の歴史の振り返りクイズ大会

交牧連の歴史の振り返りでは、直近の10年間の活動を重点的に「震災復興支援事業」「クラブ・ユース事業」の開始の経緯や、事業実施にかける思いなどを、それぞれ安原栄蔵氏（東北ブロック・青森県）、大井幸男氏（東海ブロック・愛知県）より発表。クイズ大会ではテーブル座席で1チームとなり、合計３問のクイズを実施。獲得した点数が多かった上位３チームには、各ブロックから提供いただいた景品をプレゼント。

地域ブロック活動発表

- **北海道ブロック 小川牧場（北海道）小川文夫さん：「日本最北で取り組む教育ファーム ぶんちゃんの里 紙芝居」**
  「日本最北で取り組む私の酪農教育ファーム」と題して、60枚のパワーポイントと、妻小川優子さんの朗読による紙芝居「いのちをいただく」を使って行う青空教室の様子を熱く語った。「まさしく酪農教育ファームには人を育てる力がある」と力強く伝えた。
- **東北ブロック 蔵王酪農センター（宮城県）笠原新一さん：「震災復興支援事業」**
  震災復興支援事業の９年間の歩みを動画も交えてDVDで発表。「被災地の状況も変化するなか、今後の活動を考えると本来の目的である学びにシフトするべきかなどを検討をしながら、10年目を迎えて形を変えながら続けて行きたい」と今後の展望を語った。
- **関東ブロック いすみ高秀牧場（千葉県）馬上温香さん：「これまでの活動を通して得た強い繋がり」**
  わくわくモーモースクールへの協力、NHK「ふるさとの食 にっぽんの食」への参加や、研修会、交流会を実施。多様な活動を通じて、酪農家や消費者、さらには学生、ジェラートマシンのメーカー、料理研究家など様々な人とのつながりが広がったことを報告。
- **東海ブロック 小笠原牧場（愛知県）小笠原和美さん：「東海ブロックのここがいぃ！（自慢してもいいですか？）」**
  「会員同士仲がいい」「事務局と仲がいい」「お手本となるべきレジェンドがいる」と自慢を発表。「節目節目で原点に戻り、親世代の経験と、ユース世代の時代に沿った活動で今後もがんばっていきましょう」と呼びかけた。
- **北陸ブロック Harmony with（石川県）澤田真さん：「DAIRY WORLD CAFÉを通しての交流活動」**
  カフェのようにリラックスした雰囲気で自由に話し合う「ワールドカフェ」の形式で実施してきたクラブ・ユースでの活動を報告。「北陸は落ち込んでいく生産体制を再構築することが急務。若い世代に酪農を伝え続け、新規就農者を生み出していきたい」と希望を述べた。
- **近畿・中国・四国ブロック 山田牧場（滋賀県）山田保高さん：「この10年間にあった酪農の出来事をファーム教育の中でどう生かしたか？」**
  戦後の酪農の三大危機として生乳の減産、BSE問題、飼料代高騰を挙げ、また、口蹄疫、東日本大震災にも言及。「農業は“命を移し変える仕事”というが、命を移し変えることなく死んでいった多くの動物もいる。そのことも伝えていきたい」と思いを語った。
- **九州ブロック 本部農場（宮崎県）本部昇さん：「酪農教育ファームと連携した酪農理解醸成活動と熊本地震復興支援への取組」**
  「教育ファームへの参加から、交牧連にも10年前に入会しましたが、入ったばかりの年に口蹄疫に見舞われました。皆様の協力を得て終息したおかげで、何とかこの場に立っている」と、当時を振り返った。

今後の１０年に向けて宣言

近中四ブロッククラブ・ユース代表の小林拓氏（島根県・小林牧場）より、宣言が読み上げられた。前向きで力強い姿勢と内容に、会場は一体となって、改めて本会活動を継続していく気持ちを共有した。

閉会

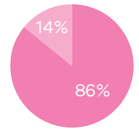
「交牧連の歴史の振り返り」および「今後の10年に向けて宣言」の内容は「20周年記念誌」に掲載されておりますので、あわせてご覧くださいませ。

参加者アンケート結果

コース別研修会の感想

- 感動した。特にブロック発表が良かった。そして若者ユースの宣言は力強くて良かった。
- 歴代会長達がそろい、若手も同じテーブルにいたりすることで、20年の歴史を感じるとともに、世代交代があったとしても想いはベテランの皆さまから引き継いで行けると確信した。
- クイズが面白かったです。メリハリがあったので、時間があっという間でした。
- 各エリアの出来事を近くに感じる事ができ、皆様の活動が少しずつ実を結び、形をつくりはじめていることに感動しました。引き続き、必要な組織であると実感しました。

今回の式典は満足できましたか？



■5よかった ■4 ■3 ■2 ■1よくなかった

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！令和２年度は関東ブロック（東京都）での開催を予定しておりますので、是非ご参加くださいませ。